

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ(佐賀県)
食中毒を起こすビブリオ菌のあれこれ～正しく怖がるために～

参加者数：	28名
アンケート回収数：	28枚

問1. アンケート記入者について

①性別		
回答内容	件数	割合
①男性	18	64.3%
②女性	10	35.7%
無回答	0	0.0%
計	28	100.0%

②年齢		
回答内容	件数	割合
①20歳未満	0	0.0%
②20歳代	1	3.5%
③30歳代	5	17.9%
④40歳代	8	28.6%
⑤50歳代	2	7.1%
⑥60歳代	5	17.9%
⑦70歳代以上	7	25.0%
無回答	0	0.0%
計	28	100.0%

③職業(立場)		
回答内容	件数	割合
①消費者団体	3	10.7%
②主婦・学生・無職	8	28.6%
③生産者	0	0.0%
④食品関連事業者・団体	5	17.9%
⑤マスコミ	0	0.0%
⑥行政(自治体職員, 独法職員)	9	32.1%
⑦食品関連研究・教育機関	2	7.1%
⑧その他	1	3.6%
無回答	0	0.0%
計	28	100.0%

⑧その他(具体的に)

元消費安全担当者(農水省)

④意見交換会情報入手手段		
回答内容	件数	割合
①食品安全委員会HP	0	0.0%
②佐賀県からの案内資料	13	46.4%
③食品安全委員会メルマガ	1	3.6%
④関係者からの案内資料	6	21.4%
⑤知人からの紹介	5	17.9%
⑥その他	3	10.7%
無回答	0	0.0%
計	28	100.0%

⑥その他(具体的に)

食生活改善の会長から
 農林水産消費安全技術センターメールマガジン
 生活衛生課からのメール

⑤あなたは「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか？

回答内容	件数	割合
①強くそう思う	18	64.3%
②ややそう思う	10	35.7%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④全くそう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	28	100.0%

問2. 本日のサイエンスカフェについて

①サイエンスカフェに参加した目的

回答内容	件数	割合
①食中毒のリスクについて理解を深めたかったから	6	21.4%
②食中毒のリスクについて自分の意見や考えを話したかったから	1	3.6%
③他の参加者の意見や考えを聞きたかったから	6	21.4%
④これまでにない取組みで面白そうだったから	6	21.4%
⑤少人数で相互対話に関心があったから	0	0.0%
⑥国、自治体の行うリスクコミュニケーションについて知りたかったから	7	25.0%
⑦その他	0	0.0%
()		
無回答	2	7.2%
計	28	100.0%

②どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	6	21.4%
②ほぼ満足	18	64.3%
③あまり満足できなかった	1	3.6%
④まったく満足できなかった	0	0.0%
⑤どちらでもない	0	0.0%
無回答	3	10.7%
計	28	100.0%

③, ④満足できなかった と答えた方に伺います。

満足できなかった点(具体的に)

予防について具体的説明が不足している。専門的研究を深めることより一般的なリスクを予防する内容を充実すべき。

問3. 本日のサイエンスカフェについてどう思われたか？

回答内容	件数	割合
①評価する	16	57.1%
②まあまあ評価する	8	28.6%
③あまり評価しない	1	3.6%
④まったく評価しない	0	0.0%
無回答	3	10.7%
計	28	100.0%

理由

大石さんの話もわかりやすかった
質問を1つずつカードで集めるという手法と1つ1つ丁寧に回答したこと
食中毒のリスクについて、話はよく聞けど具体的に話を聞くのは初めて
ゆっくりな進行でよかったと思う。参加者の疑問に答える形式がよかったと思う。あとは、参加者の満足度が伴えばよいと考える。
サイエンスカフェスタイルは初めて参加しました。できれば机でメモもできる形で、その上でカフェスタイルができないか検討をお願いします。
参加人数が少ない。
初めて参加して勉強になりました。又の機会にもお世話になります。
聞きなれない言葉が出てくるので難しく感じました。知識がないので先生のマイクがわかりにくいところもありました。
協議会や会議等にありがちな進行のやり方ではなく、井戸端会議で気さくに話し合える点が非常に良い
身近に感じ、専門的知識がなくても質問できたこと。
大人数のセミナー等ではできない個別の回答が多くしていただける
漁業関係者、魚市場、魚の販売者それぞれの立場から情報提供(意見交換)があればよかった。
みなさん参加者の意見が活発に出たこと、また、普段聞けない話を聞くことができた
午前中のサイエンスカフェの準備を今日の半分程度の時間にして、午後のサイエンスカフェの時間を長くしたほうが良いと思った。
食品安全を身近なものとして考え、理解していただくため重要。
意見カードを利用することで意見が出しやすくなる。自分の疑問に答えてもらえる。
堅苦しい会議形式でなく気楽に参加できた。
質問の内容也多岐にわたり、通常の講演会より質問を出しやすい雰囲気がよかったと思う。
気軽に参加できる雰囲気とカード形式で聞きたいことが出しやすい
質問をカード記入で集めること、関連付け代表で質問すること、手順よく進めること

問4. サイエンスカフェの進め方について、会の全体を通じて感じた印象は？

i. サイエンスカフェの開催手続きは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	9	32.2%
②そう思う	17	60.7%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	2	7.1%
計	28	100.0%

ii. 情報提供「食中毒を起こすビブリオ菌のあれこれ～正しく怖がるために～」の解説は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	12	42.8%
②そう思う	15	53.6%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	1	3.6%
計	28	100.0%

iii. 意見交換の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	15	53.6%
②そう思う	10	35.7%
③あまりそう思わない	1	3.6%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	2	7.1%
計	28	100.0%

iv. 意見交換時に話題提供者、司会者は質問にきちんと対応していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	13	46.4%
②そう思う	13	46.4%
③あまりそう思わない	1	3.6%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	1	3.6%
計	28	100.0%

v. 食中毒のリスクについて参加する前に比べ理解が深まった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	7	25.0%
②そう思う	18	64.2%
③あまりそう思わない	1	3.6%
④そう思わない	1	3.6%
無回答	1	3.6%
計	28	100.0%

vi. 自分の食生活に今回のサイエンスカフェで知った内容はいかせる

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	9	32.1%
②そう思う	17	60.7%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	1	3.6%
無回答	1	3.6%
計	28	100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見やご感想をお書き下さい

県庁の中でやっているとは思えないような中で開催されてよかった。意見交換もいろいろな方面からの内容で面白かった。ありがとうございました。
とても身近な話題であるにも関わらず、漠然とした情報しか入ってきません。今日、改めて食のリスクについて考えさせられましたので、これを機に普段の生活から気がけて行きたいと思いました。
参加者がまだ積極的に参加するような意見交換ではなかったような気がする。カードという手法を使ったがある意味聴講生的かも知れない。
もっと一般市民を巻き込んだリスコミにつなげてよいのではと考える。
主婦としての知識で参加しました。今日の内容は理解できましたが、それ以上の理解にはもう少し詳しく聞きたかったと思います。そのような意味から言えば私の知識レベルでは講義形式で、もう少し勉強してからカフェ形式に参加したかったと思いました。
こういう形式は初めてなのでまあ良いと思う。
今日はたいへんに勉強ができました。ありがとうございました。
このような会を重ねていく内に少しずつ意味がわかるようになるのでは。常識がないので。
会場の温度管理をしてほしい(蒸し蒸しで暑い)。予防について具体的に数値を入れて説明が聞きたかった。特殊な菌(バルニフィカス)の話のウェイトが高い。一般的な菌(腸炎ビブリオ)の話を聞きたかった。大石先生のPPTコピーは白黒では見にくい(表のページはカラーにすべき)
緊張してましたけど、楽しく過ごせました。お世話になりました。
初めての参加だったので、この経験を活かして地区や職場で活用できたらと思います。
「知ること」がまず第一であると感じた。
専門的なことばかりでなく、手洗い等予防についても学習できた。
“食品に100%安全なものはない”ということと参加者全員がもっと共有できる内容であれば、なお良かったと思います。
サイエンスカフェの開催自体、とてもよかったと思う。今後は運営スタッフの養成も同時に行えたらと思う。県その他部局等の会合でもこの手法を取り入れてほしいと思う。
今後もこのようなサイエンスカフェを年に何回か開催してほしい。その際、内閣府食品安全委員会から人(スタッフ)を来てもらわなくても、佐賀県独自の計画と人員で開催されることを強く望みます。
型にはまらない形でのコミュニケーションは、色んな問題を身近に近づける手法として重要であることを知った。また、未知の方と知り合うキッカケともなり喜ばしいことである。
サイエンスカフェの手法は様々な応用ができる気がした。色々な場面で活用できそう。
大変良い試みだったと思います。もう少し参加者の生の声が聴けたらもっと良かったと思います。
サイエンスカフェの手法、進め方も学ぶことができたし、参加者からの質問についても今後の業務の参考になるような内容が多く良かった。
県内で市町村などに広められたらと思います。リタイア組として今後ともお役に立つことがあればと思い参加しました。